

風はPLCから

平成31年1月

重点領域実践実習Ⅰ・Ⅱ ～離島&特別支援～

重点領域実践実習では、鹿児島県の教育課題、実習校の教育課題を解決していくための研究を、「実習」を中核とした円循環的な学びの中で行っています。

鹿児島県の地或課題に対応する教育実践力の獲得を目的とした離島域やへき地域での実習は、長島町立獅子島小中学校で行われました。離島の教育課題を分析し、複式指導による授業づくりを行いました。(10月22日～26日)



刈川 陽介 (鹿児島市立東谷山小学校)

5日間の実習生活は大変有意義なものでした。明るく元気で素直な子どもたちと、一緒に遊んだり勉強したりすることができたのは本当に楽しかったです。また、地域の方々と道で会おうと声をかけて貰ったり、獅子島の歴史や文化についても丁寧に教えて貰ったりして、大変温かい気持ちで毎日を過ごすことができました。

獅子島小中学校では、校種を問わず、校長先生をはじめ、先生方が協力して熱心に教育活動に取り組むとともに、地域の人々も積極的に巻き込みながら、新しい学校文化を創り出していました。このような学びの機会を頂き、獅子島の方々にも心より感謝致します。



長島町立獅子島小中学校

特別支援教育の実習では、個別の指導計画を踏まえた授業づくりに取り組みました。事後指導では、ユニバーサルデザインの観点に立つ長期的な特別支援教育のあり方についての認識を深めることができました。(10月1日～5日)

Ⅱ



附属特別支援学校



新村 英昭 (鹿児島市立大明小学校)

特別支援教育は、なぜ教育の原点と言われるのか、附特の実習を通して考えさせられました。また、実際の授業づくりを通して、子供の障害特性や学びの段階から系統性のある必要性の高い教材・教具の開発に関わることができました。また、授業実践後のミーティングを通して、子供の学びから継続的に授業改善を図る営みも学ぶことができました。このような教師の授業改善の積み重ねから、どのように組織的にカリキュラム・マネジメントを展開するのか、さらに研究を深めていきたいと考えます。



SSP 連携協議会 ～開発実践実習Ⅰ～ ★SSP : School Support Project ～学校サポートプロジェクト～

教職大学院が企画する「教職大学院のコンサルテーション機能とシンクタンク機能を活用した学校サポートプロジェクト」に院生が実習として参加させていただいています。11月27日には連携協議会が行われ、それぞれのプロジェクトに参加している院生による実習状況の報告を行いました。

本プロジェクトにおいて、各校の取り組みから、多くの実践的な学びを得ています。実習は残り少なくなりましたが、今後も更に、研究を深めていきたいです。



来年度へ向けて ～指導教員決定&探究課題の設定～

M1の院生1人に対して、3名の指導教員が決まりました。来年度の研究に向けて、それぞれの探究課題を設定しています。



寺内 愛 (学卒)

今年度は、教職に関する数多くの理論を学び、自分の実践を見つめ直せた一年でした。二年次は、「主体的・対話的で深い学び」ICT機器を効果的に活用した授業づくり」を探究課題として取り組んでいきたいです。

担当：教職大学院1年次 江口 靖子・藺島 美香